

特定非営利活動法人 りんりん

りんりん

『童話の村・秋まつり』

りんりんの実り

「暑さ寒さも彼岸まで」の言葉通り、激しい変化をみせた今年の秋分の日でした。前日は35度の猛暑、そして当日は大雨が降り24度の寒さ。夕方、土手で花嫁行列を待つ人たちは長袖をとりに走るありさまでした。その激変のお陰で彼岸花が一挙に色づき始め、待ち焦がれていた人たちは胸をなでおろしました。



秋まつり期間中、うどんも大盛況

当日はりんりんの日頃の活動を知っていただく目的で、6回目の“作品展”が開催されましたが、大雨のせいがかつてないひっそりとした会場となりました。一方、7月に開店したりんりん茶屋は雨やどりする人たちで一時デッキがいっぱいになる光景もみられました。

りんりん茶屋は会員はもちろんのこと、子供から高齢者まで地域の方々が自然に交流でき、仲間づくりや生きがいづくりそして癒しの場所になったらいいなと考えて造りましたが、秋祭り期間中はおもてなしの場所となりました。

去年は古民家をお借りして“お休み処ごえん”を開催し、たくさんのボランティアの協力をいただきましたが、今年も16日間という長い期間中たくさんのボランティアに支えられました。

特にうれしかったことは、職員の子供さんたちが手伝ってくれたことでした。小学3年生から高校3年生まで、楽しかったからと2日間も手伝ってくれました。17年目に入った私たちの活動がりんりんスタッフ二世の活躍する時代になったことを目の当たりにし、秋の実りの風景と共にりんりんの実りを感じる秋祭りでした。

理事長 村上眞喜子

“りんりん茶屋”オープン

平成22年7月1日(木曜日)食事や飲み物を提供するために2棟目のトレーラーハウスがオープンしました。



トレーラーハウスの名前は“りんりん茶屋”に決定。ネーミングを皆さんから募集し、見事、ネーミング大賞に輝いたのはデイサービスやなべのNさん。ウッドデッキで授賞式が行われ村上理事長から記念品が渡されました。

次は半田で活動している「よさこい」のチーム“チームGON”のダンスパフォーマンスです。メンバーの中にはりんりんのパートさんやヘルパーさんが3人います。そのご縁でオープニングに参加していただいたのです。炎天下、約10名のダンスに見物客も加わり、大変盛り上がりました。地元、岩滑地区の方々やお世話になった方々など、たくさんおいでいただきました。当日のメニューはうどん・いなり寿司・酢の物などでした。室外はいつものサロンの時の

ように新鮮野菜が並べられ、特設会場ではバッグやマフラー・洋服などの販売もありました。



りんりん茶屋

営業時間

月～金	10時～15時(土・日・祝休み)		
		コーヒー・ジュース・アイスクリームなど	各200円
月曜日	12時～13時	麺定食	500円
木曜日	12時～13時	ランチ	500円

※月・木要予約(数量限定)

りんりん作品展が開催されました!

秋分の日(9月23日)、りんりん1階ホールでは6回目の作品展が開催されました。ちょうど同じ頃「童話の村 秋まつり」が開かれるため、毎年たくさんの方に作品展にもお寄りいただきます。しかしいつもは見事な彼岸花も天候不順のせいかほんの一部を除いて遠目には、みだんの矢勝川の土手と変わりはありません。あいにくの雨降りでもあり、出足を心配しましたが、午前中は訪れる人がけっこう多くていつもながらの賑わいにほっとしました。

彼岸花▶



▲絵てがみ体験

▼和布ベスト



りんごハウスはフリーマーケット会場に早がわり。さまざまな雑貨や洋服が並び、「その色よくお似合いよ」「いいお鍋でしょ」と売り子さんもなかなか上手です。お気に入りを探すのも楽しい時間です。

さをり織りコーナーではジャケット、Tシャツ、今年流行のマフラー、タペストリーなどの作品が並んでいます。さをり織りコーナーとはにかく色彩が豊富で楽しいこと。体験コーナーでは、若い女性、小学生、白髪の女性が、係りの人に教えられながら、熱心に手と足を動かしています。



▲フリーマーケット



▲さをり織り体験



◀絵てがみ

隣の喫茶室も木材を主にした内装がなかなか落ち着く空間です。頭に三角巾をきりりと締めたお母さんたちがうどん・コーヒー・りんごジュースなどを作って下さいます。「同窓会で来たんですよ。この彼岸花は素晴らしいと聞いてね」と豊橋・幸田方面からきた人々。

絵てがみのコーナーでは、周囲の壁面に大胆でユニークな絵てがみがいっぱい。野菜を主な題材とした絵の中で履きなれた草履が1足描かれていました。おばあちゃん宛の絵てがみです。「おばあちゃん元気で長生きしてくれてありがとう」絵に添えられた言葉が何とも温かくて、気持ちが和らぎます。体験コーナーの机には赤と白の彼岸花とゴーヤ、かぼちゃ、赤唐辛子、茄子が置かれ、先生の指導を受けながら、小学生、若い女性、お母さん方が楽しそうに、でも真剣に筆を動かしています。



▲ディサービスやなべ

大きな白布にディサービスやなべの利用者さんたちの手のひらのかたちで押した「ありがとう」の5文字が鮮やかです。



▲小物作り



◀さをり織り



▲花嫁行列



▼ミニそうり



◀クレープ屋さん

小物のコーナーでは、和風の布地で作られたベストがずらりと壁面に掛けられています。それぞれ布の風合いを活かしたデザインが楽しい。ミニ草履がたくさんあって鼻緒に使われている絞りの布が目を引きまます。袋物は古布を利用してとても素敵です。履き古されたジーンズの、後ろのポケットをうまくアクセントとしてさらに刺し子のように手縫いで模様をあしらったショルダーバッグもあります。

途中で雨が降ったりして今年は客足が伸びませんでした。作品展はりんりんの存在と活動を多くの人に知っていただく大きなイベントです。たくさんボランティアの皆さんに支えられて無事に終えることができました。

平成22年(2010) 10月

NO. 45

発行/特定非営利活動法人 りんりん

半田市岩滑高山町5丁目4番地

TEL(0569)21-3646 FAX(0569)32-6623

http://rinrin.or.jp E-mail npo@rinrin.or.jp

ありがとうございます 皆さまの温かいご支援が
りんりんを支えています。

ご寄付ありがとうございます

休波 京子 清田 友子 水野 陽子 森 史枝
榊原 照子 瞳 会 小物づくり (敬称略)

平成22年度賛助会員

黒野 佳子 中川八重子 休波 京子 清田 友子
加古 淳子 石川 雅子 竹内ふみえ 榊原 稚子
松下うた子 竹内 幸子 (敬称略)

半田商工会議所優良従業員表彰 りんりんヘルパー 越智伸子さん

9月17日(金)午後、半田商工会議所「平成22年会員及び会員事業所優良従業員表彰式」において、りんりんから越智伸子さんが、表彰されました。越智さんは平成8年からヘルパーとしてりんりんでは活動されています。



りんりんのできごと

研修会

6月「認知症」事例検討 30名
7月「接遇対応の基本」感染症について 31名
8月「障がい支援」 46名

	6月	7月	8月
絵手紙	17名	16名	15名
さをり織り	37名	36名	36名
生き生きサロン	117名	215名	223名
小物づくり	12名	15名	休み

(延べ利用人数)



会員数

協力会員	利用会員	賛助会員	合計
117名	49名	51名	217名

(H22/9/30現在)